



朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和8年 6月30日 (火)

7月号

児童数 461名

TEL: 048-466-4481



【学校教育目標】

<http://www.asakadai9shou.city-asaka.ed.jp>

「心豊かでたくましい人間の育成」 すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

【めざす学校像】「元氣なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」

選ぶことから始まる学び ～子供たちの対話が育む思考の力～

校長 吉澤 めぐみ

今、学校教育では「主体的・対話的で深い学び」が求められています。その中で、子供たちが自分で考え、選択することはとても大切だと考えています。

先日、1年生の教室で次のような問題に取り組んでいました。

「うさぎが8匹います。白いうさぎは3匹です。黒いうさぎは何匹いますか。」

先生が「これはどのような式でもとめられるのか」子供に尋ねました。大人は、「 $8 - 3 = 5$ 」と引き算で求めると考えます。ところが、子供たちの考えは、「 $8 - 3 = 5$ 」と引き算で求めると考えと「 $3 + 5 = 8$ 」と足し算で求める考えがほぼ半々に分かれました。

引き算を選んだ子供は、算数ブロックを使いながら「全部でうさぎは8匹で、白いうさぎ3匹を取ると黒いうさぎが分かる。ブロックを取るから引き算でわかる。」と説明します。一方で、足し算を選んだ子供は、「うさぎは減っていないから足し算だと思う。」と自分なりの考えを伝えます。

隣同士で意見が異なると、それぞれが自分の考えを一生懸命に説明し合います。そして話し合いを重ねるうちに、「なるほど、そういう考え方もあるね。」と相手の考えを受け止めながら、少しずつ理解を深めていきました。教室には、真剣に考え、対話する姿があふれていました。

どちらを選んだとしても、その理由を自分の言葉で説明できることは素晴らしいことです。引き算を選んだ子供にも、足し算を選んだ子供にも、「なるほど、そう考えたのか」と他方を納得させられる理由がそこにはありました。

子供たちが根拠をもって選択し、その根拠を自分の言葉で表現する。そして、友達の考えに耳を傾けながら学びを深めていく。これからの学びにおいてとても大切な力だと感じています。

「教育の目的は、知識を与えることではなく、考える力を育てることである。」

これは、現代の探究的な学びの源流を築いた教育哲学者ジョン・デューイの言葉です。

デューイは「学びは受け身ではなく、子供自身の経験や探究によって深まる」と考えた教育学者です。今回の「子供たちが自分で考え、理由をもち、友達と対話しながら学ぶ経験」を通して思考の力を育むことがこれからの社会で活躍する子供たちには必要になるのではないかと思います。

本校では、朝霞市教育委員会より「令和8・9年度 研究開発学校」に指定されました。研究主題を「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善としています。研究を通して、子供たちの対話があふれる授業を展開し、子供たちの思考する力を高めてまいります。

引き渡し訓練、ご協力ありがとうございました。

土曜参観では、ご多用の中、引き渡し訓練にご協力いただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、早い段階で引き渡しが完了し、訓練を円滑に実施することができました。近年、全国各地で地震が発生しており、大規模な災害がいつ、どこで起こっても不思議ではない状況にあります。学校においては、児童の安全を第一に考え、災害発生時に迅速かつ適切な対応ができるよう、日頃から防災教育や防災体制の充実に努めてまいります。引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

※HPをリニューアルし、「九小の日々」を追加しました。ぜひ、ご覧ください。